

鉄道第一連隊の名残りマップ

旧陸軍鉄道連隊が明治41年(1908)、旧千葉町都賀村(現・椿森)と津田沼町に設置され、大正7年(1918)の改編により千葉町に鉄道第一連隊、津田沼町に第二連隊が設置された。

鉄道第一連隊演習所は、現在の千葉公園綿打池付近から競輪場付近の一带にあり、架橋演習に使用したコンクリート製の橋脚や、トンネル工事演習に使用したコンクリート製ドームのほか、ウインチ台といわれるコンクリート塊などがあり、昔日の面影を今に伝えている。



架橋演習の橋脚跡
高さ4m 幅5m 奥行2m



荒木山の由来・解説板



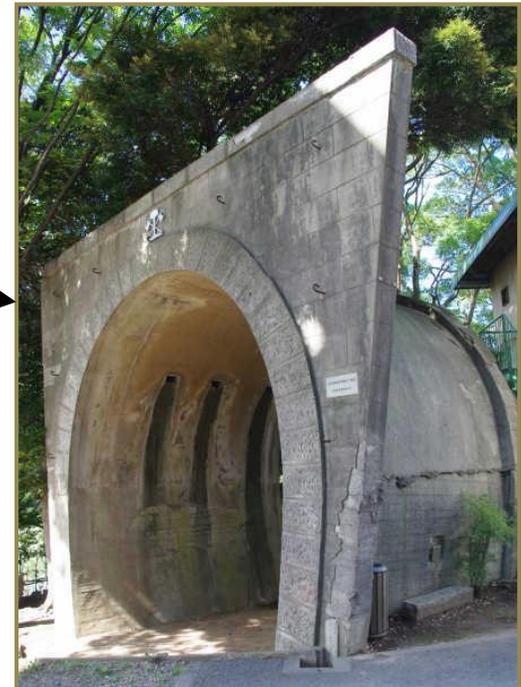
鉄道第一連隊演習所跡・解説板



荒木山の標柱(S8年建立)



ウインチ台とされるコンクリート塊



隧道(トンネル)工事跡
高さ6m 幅6m 奥行5.5m